



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim "Let us walk in the Light-together  
「ともに、光の中を歩もう」  
アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事 : 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」  
湘南・沖縄部長 : 金子 功 「Y'sの絆を強め、広げよう」  
クラブ会長 : 今城 宏子 「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」  
～仲良く、楽しく、無理をせず～



今月の聖句

すると、一同は聖霊に満たされ。“霊”  
が語らせるままに、他の国々の言葉で  
話し出した

使徒言行録2・4

信徒の友「日ごとの糧」5月20日

2018年5月本例会

日時 : 5月25・26日 (金)

13:00現地集合

場所 : 横浜YMCA富士山GEV

司会 : 岡田K 受付 : 岡田M

【プログラム】

- 1) 本例会 25/13:30-15:00  
開会点鐘 会長  
ワイズソング・信条 一同  
今月の聖句・祈祷 鈴木S  
卓話 : 山中奈子 (北Y館長)
- 2) チェックイン、自由時間、準備
- 3) BBQ 17:00-20:00
- 4) 懇親会 20:00～
- 5) 早天黙想会 26/07:30  
@グリーンチャペル
- 6) 朝食 8:00-8:30  
朝食後解散



5月26日 (土) は横浜  
YMCAの会員総会があり  
ます。会員の皆様はお  
忘れなくご出席ください。  
時間 : 17:00～  
場所 : 湘南とつかYMCA

《特別寄稿》 “感謝の心を表す機会”

辻 剛

5月には、EF/JEFの強調月間です。  
かく申す私もプリテン担当の今城  
高之ワイズからJEFに因んで寄稿するよ  
う依頼されるまで気づいていませんで  
した。後段で触れますが、私はJEFにつ  
いてはひょんな縁で多少存じております。  
当クラブのメンバーの中には馴染みの少  
ない方もいらっしゃると思いますので、私  
の知っている範囲で簡単にご説明させ  
ていただきます。

そもそもEF = Endowment Fund (エ  
ンダウメント・ファンド) は、1950年ワイ  
ズダム発展のために国際協会に設けら  
れたファンドです。個人・クラブが記念す  
べき出来事・行事・慶弔事などのおり、  
寄付金を国際協会送金し積み立てま  
す。寄付者名と記念事業等が国際が  
永久に保管する「ゴールドブック」に記  
帳されます。東日本区では国際・交流  
事業主任がその推進を担当していま  
す。

次に、JEF (Japan East Y's  
Men's Fund) = 東日本区ワ  
イズ基金 (= JEF基金) ですが、これ  
はいわば「EF」の日本版です。「JEF基  
金」が最も強調したいのは真の目的、す  
なわち、「この基金は、ワイズダムにかか  
わる組織や人々の感謝の心を表す機  
会であり、ワイズダムの安定的かつ継続  
的な組織と事業の発展に資すること」で  
あります。(JEF基金規則・第2条・「目  
的」より抜粋)。この目的を理解して多  
くの組織や人々が折々の感謝の印とし  
て献金し、それを目的達成のために活

用する夢のある基金でありたいので  
す。ですから、ハンドブックの「東日本区常置  
委員会規則」の中では、他の規則は  
「〇〇〇委員会規則」となっていますが、「JEF基金」だけは基金そのものを強  
調するために「委員会」をつけずに、  
「JEF基金規則」としています。(むろん  
管理、運営のために「東日本区ワイズ  
基金運営委員会」は存在していま  
す。)

「JEF基金」の生い立ちは「東日本区ワ  
イズ基金」規則の後に、「付記」として記  
載されていますが、概ね次の通りです。  
この基金は第51回熱海国際大会  
(1975年) の際、大会開催のため  
に、日本区の会員が3年間にわたって積  
み立てた拠出金と国際協会からの還付  
金(大会に食事もしないで頑張った日  
本区の大会実行委員会のメンバーの  
経費の一部だったそうです) を基本財  
産とする「アタミ基金」として設立され  
ました。その後、「日本ワイズ基金」、そし  
て、1997年月には東・西両区に分割  
譲渡され、東日本区においてはこれを  
「東日本区ワイズ基金」と称することにし  
ました。(ちなみに1977年3月現在で  
940万円の残高が確認されていま  
す。)

現状ですが、昨年度の実績は  
¥813,312-でした。(達成  
目標 : ¥500,000)。2016-17年  
度末の残高は、¥15,363,252-で  
した。(2016-17年度の現状報告よ  
り) (P4へ続く)

《本例会報告》

報告：今城高之

日時：2018年4月27日 18：30-20：00

場所：都筑区社協かけはし都筑

出席者：今城H、今城T、岡崎、岡田K、岡田M、久保、  
胡麻尻、鈴木K、鈴木S、辻Ts、福島、三木、  
山中、横田（13名）

<ピジター> 古賀健一郎ワイズ（横浜C）

<ゲスト> 高松満至さん、斎藤薫さん、  
藤田満知子さん（合計17名）

司会：岡崎、受付：今城T

《開会》

◇今城H会長の開会点鐘に引き続き、一同でワイズソング並びにワイズの信条を唱和。

◇鈴木Sワイズによる今月の聖句（マタイ25・10）朗読と祈禱に続き、司会者によりピジター並びにゲスト3名が紹介された。

◇会長が挨拶をおこない、ゲスト、ピジターに歓迎の意を表するとともに、年度の3/4を順当に終えたことに対しメンバーへの感謝が述べられた。

◇卓話（久保勝昭ワイズ/つづきクラブ）

・クラブメンバーの久保ワイズが、“Country Music & I (愛)”の演題で卓話を行った。

・久保ワイズは、万人が認めるウエスタン通で、学生時代から今に至るまでカントリーソングを愛し、歌い続けて来られ、数百曲のレパートリーがあるとされている。

・そもその発端は、昨年11月号のクラブプリテンの巻頭言に久保ワイズが、日本におけるカントリーソングの変遷などについて一文を投稿したが、紙面不足から、続きは「卓話で」ということになり今回の実現となった。

・周到な準備がなされており、歌と映像と語りにより、久保ワイズが愛してやまない、夭折の“King of Country Music” ハンク・ウィリアムスにまつわる話の数々と彼の代表的な曲が披露された。

・また、60年代以降の日本の著名な歌手達が、如何にカントリーソングの影響を受けたか、等、極めて興味深い話と、彼らの代表的な曲の演奏があった。

・今回久保ワイズの卓話を支えたのは、サイドギターと語りで参加した横田ワイズ、映像を担当した山中ワイズで、3

名は事前に集まりリハーサルを行ったと聞いている。

・今回の卓話は、通常と若干異なるが、カントリーソングに関わる豊富な情報と、歌を愛する久保ワイズの心を感じることができた素晴らしい卓話と演奏であった。

・余談であるが、久保ワイズは、かねてより地域のYMCAにおける「うたごえ広場」活動の担い手で、現在、横浜北Y、生麦地域ケアプラザ、藤沢Yにおいて、毎月数十名の方々に歌を楽しんでいただいている。

◇Happy Birthday

今月は、岡田勝美、鈴木恭子、福島佐世子の3名が誕生日を迎えるので、会長よりプレゼントを渡し、全員で“Happy Birthday to you！”を歌ってお祝した。

◇YMCA報告

横浜北YMCA山中館長（クラブ担当主事）より活動報告があった。特に、新たに3名の新任スタッフが加わり、若い力がみなぎっていることの報告があった。なお、今回の異動で、1名が厚木YMCAに転出したとのこと。

◇会長の閉会点鐘で例会を終え、場所をセンター南駅前の「ガブリエル」に移し、楽しい懇親・会食会を行った。

出席者は16名。

以上



（右）飛最  
い後  
にび盛  
入は  
りり辻  
上出ワ  
げ演イ  
たでズ  
大も



パノラマ撮影による例会風景

## 2017-18年度第3回湘南・沖縄部評議会報告

日時：2018年4月21日（土）15：00～17：00

場所：横浜YMCA 606号室

- ◇松島部書記の司会により開会。
- ◇出席17名、委任状提出者20名、合計37名で会の成立が確認された。
- ◇金子部長による開会点鐘、ワイズソング斉唱、ワイズの信条唱和に続き青木担当主事による聖書朗読と祈祷がされた。
- ◇部長挨拶後、金子部長が議長となり評議会議事が行われた。

## I. 議事

**第1号議案：**部長以外の次期部役員の選出について  
第2回部役員会において次期部書記：堀田哲郎ワイズ（厚木）、部会計：伊藤誠彦ワイズ（横浜）が既に承認済み。他の役員について佐藤節子次期部長より次の提案があり、承認された。地域奉仕・Yサ主査：山田一男（金沢八景）、会員増強事業主査：古賀健一郎（横浜）、国際交流事業主査：今城宏子（横浜つづき）、ユース事業主査：若木一美（横浜とつか）

**第2号議案：**次期監事の指名承認について  
次年度部監事として佐藤節子次期部長より鈴木 茂ワイズが推挙され承認。

**第3号議案：**次年度次期部長選任に関する件  
金子部長より沖縄クラブが次期部長を同クラブから選任することに同意した旨を説明された後、当日出席の同クラブ伊藤康一書記より森田幸二郎ワイズを推薦するとの説明があり、改めて金子部長から同氏を次年度次期部長とする提案がされた。連絡報や費用等についての討議がされた後、提案とおり承認。

鈴木監事より次年度に連絡方法（会議開催方法）、費用の捻出について具体策を策定する必要であろうとの意見が出された。

第4号議案：2018-2019年度湘南・沖縄部部会開催について佐藤節子次期部長の提案により2018年9月15日（土）に行うことを承認。

## II. 協議・報告・連絡事項

- ① BF代表受け入れ：6月6-7日に部でのRobinson夫妻（カナダ）の受け入れ方法について協議。金子部長が調整に当たる。
- ② 第3回神奈川県臨床作業療法大会の協賛につき2万円の協賛金を支払うことが金子部長から報告され合意を得た。
- ③ 東日本区役員会（4/7～8）金子部長から主要決議事項の報告がされた。
- ④ EMC委員会進捗状況報告：佐藤EMC委員長からされた。
- ⑤ 金子部長より部報第2号、東日本区大会での活動報告原稿依頼がされた。
- ⑥ 伊藤部会計から今年度の決算見込みについて報告された。
- ⑦ 各事業部主査からそれぞれ報告がされた。
- ⑧ 各クラブ会長活動報告がされた
- ⑨ YMCA報告が青木担当主事によりされた。

鈴木茂監事による講評、YMCAの歌斉唱、金子部長による閉会点鐘をもって閉会。

（今城 宏子）



会議終了後の記念撮影。その後場所を変えて懇親会を開催。

## ミニ・フォトアルバム

本年3月の「すぽーん」調理ボウ風景。当日のリクエストは、お好み焼き。社協善意銀行の支援で購入したホットプレートのおかげで、人気の上昇した「お好み焼きディナー」に腕を振ったのは、今城T&Hと鈴木S。ホットプレートを生かし、「明石焼き」が実現する日も近い。（TI）



(巻頭より)

ところで、冒頭で私はJEFとちょっとした縁があると申しあげました。「JEF基金」規則に「献金があったときは、奉仕帳に献金者の氏名、その理由等を記し、永久保存する」とあります。実は私は4代前の故・上谷喜謙委員長から依頼されて、この「奉仕帳」に献金者の方々の氏名、クラブ名、理由、金額、年月日などを記入するご奉仕



をさせていただきます。「記入」といっても毛筆で一字一字丁寧に字の大きさ、配置などに注意しながら書きますし、何しろ永久保存版ですから間違いは許されませんから、結構神経を使う作業です。記入していて気がついたのは、献金者はリピーターが多いということで



す。きっと献金で感謝の心を表すことは気分の良くなる行為なのでしょう。JEFのアピールのような文になってしまいましたが、JEFからの献金はいただいております。念のため。

《お知らせ》

6月の本例会では、厚木ワイズメンズクラブ会員の澤内隆ワイズが卓話をしてくださいます。卓話者のプロフィールは以下のとおり。

演題：「地域で楽しく地理を解説する」

地理バツ地理®きょういく研究所 澤内 隆



東京都文京区出身。66歳。

東京都港湾審議会委員、文教大学国際学部講師、東京成徳大学経営学部、芝浦工業大学附属中学・高等学校講師

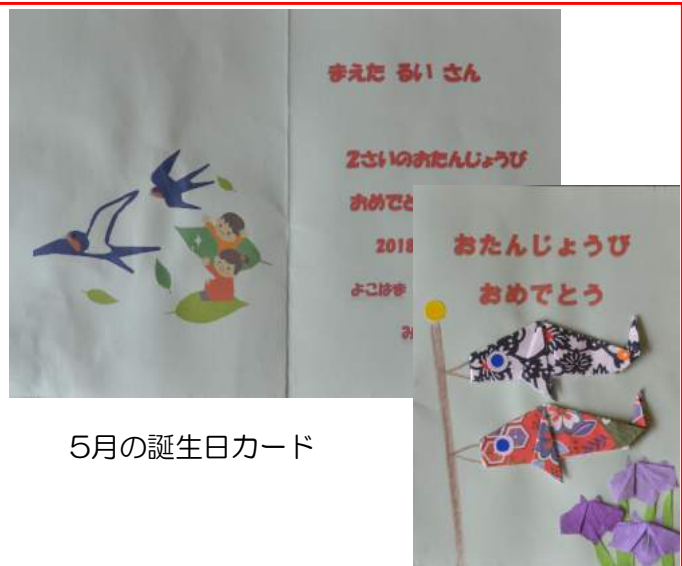
(株)帝国書院地図普及アドバイザー、クラブツーリズム(株)テーマ旅行部アドバイザー、

イベント学会理事、一般社団法人東京都レクリエーション協会副会長

略歴 立教大学文学部キリスト教学科卒、在学中にキリスト教教育研究所で体験学習、ファシリテーターを学ぶ。私立頌栄女子学院中学・高等学校で社会科教諭を37年間勤め、校外学習・ボランティアを担当する。学生時代より、ボーイスカウト活動・青少年赤十字活動を通して、ボランティア活動・レクリエーション活動に入る。

著書 新地理事典 (帝国書院)
レクリエーション ゲーム107 (ナツメ社)
中学生の野外ゲーム (成美堂)

“Tsunami Kawaii Bachans” 略して **TKB** が南相馬(福島県)の「原町聖愛こども園」と山元町(宮城県)の「みやま荘」(特別養護老人ホーム)、「つばめの杜保育園」にお誕生日カードを送らせていただくようになってから1ヶ月も欠けることなく奉仕を続けていることは本当に感謝です。加齢とともに目も手先もあやしくなってきましたが、月1度のカード作りは、小さな折紙を一生懸命おりながら、口も負けずに動かす、「コグニサイズ」さながらの状態です。送り先から届くお礼の言葉に励まされ、今月も楽しくカード作りをおこないます！ (HI)



5月の誕生日カード



# 北YMCAだより

北YMCA館長  
山中奈子

## その1

横浜北YMCAの玄関には多くの花が咲いています。その中でも群を抜いて美しいのがアンネのバラです。「アンネのバラ」は、戦後、「アンネの日記」に感銘を受けたベルギーの園芸家デルフォルゲ（Delforge）氏が、平和への願いを込めて、アンネ没後15年目の1960年に新種のバラを作り、ただ一人生き残ったアンネの父、オットー・フランク氏に贈りました。そのバラは「アンネの形見」（Souvenir de Annefrank.f）と命名されました。1971年の演奏旅行中、この聖イエス会の合唱団は、イスラエルの町ナタニヤで、「アンネの日記」の著者であるアンネ・フランクの父オットー・フランク氏と、偶然出会いました。

その後もオットー氏との交流を深めるなかで、オットー氏から「アンネの形見」と名付けられた可憐なバラの苗10株が日本へ送られました。しかし、輸送事情が悪く、9株がダメになり、ただ1株だけが、合唱団の一員であった聖イエス会の創設者の庭で、奇跡的に花をつけました。この1株が、日本での「アンネのバラ」の起源です。「アンネのバラ」はその後、接ぎ木で増やされ、全国の教会、学校、平和施設等に送られています。その中の1本が海岸教会で受け継がれ、私たちのYMCAでも元気に花を探せています。



これらの植物はカウンタースタッフの日野さん、設備スタッフの矢野さんが手入れをボランティアで行ってくれています。多くの方々の思いが私たちのYMCAを支えてくださっています。多くの感謝と共に、皆さんが心地よくYMCAに来られるようにしていきたいと思っています。

## 《つづきクラブ2018-2019年度クラブ役員》

去る1月のクラブ総会で決定した、次年度のクラブ役員は右の通りです。

当クラブでは、役員であるなしに関わらず、全員が役割を担い、全員でクラブの目標達成に励みます。どうぞよろしくお願いいたします。

|      |       |
|------|-------|
| 会長   | 岡田 勝美 |
| 副会長  | 今城 高之 |
| 直前会長 | 今城 宏子 |
| 書記   | 岡田 美和 |
| 会計   | 鈴木 恭子 |
| 監事   | 鈴木 茂  |

## その2

5月のさわやかな風を感じる季節となりました。暦の上でも夏ですが、感じる暑さも夏本番といったところでしょうか。特に今年は暑いのでは…と感じます。段々と春や秋など日本ならではの気候が少なくなってきてしまっているのが残念です。

最近は共働きの家庭が段々と増え、土日のニーズが高まってきています。キリスト教をベースにしているYMCAが日曜日に営業するなんて…という声も聞かれますが、保護者が共に来ていただかなくてはならない幼児・小学校低学年の子どもたちにとって、土日は大事な時間になります。そこで、今まで行っていなかった体操・発達障がいの子もたちへのクラスを日曜日に実施することとなりました。特に体操は今までクラス化の要望が多かった「キッズコーディネーション」を行います。7月まではトライアルとして実施し、2学期からは定例化していきたいと考えています。多くの子どもたちがYMCAと出会えることを大切にしていきたいと思います。

（ちなみに…山中が通っている教会には夕拝があり、仕事の後に行けることを感謝しています）

横浜北YMCAでは、この時期から夏のキャンプや講習会の募集がはじまります。今年度もまた、多くの方々と出会う機会となります。地域にあって、誰にでも開かれたYMCAであり続けられるようスタッフ一同がんばっていききたいと思います。横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブの皆様にもこれまで通りご指導、ご支援くださいますようお願いいたします。

### 《6月行事予定》

- 6月 9日 アウトドアトライ キンダー
- 6月 8日 講演会「小学校の選択」（発達障がい児支援活動）
- 6月9 - 15日 水泳クラス着衣泳体験
- 6月17日 アウトドアクラブ
- 6月20日 サッカーイベント「トライシュート」（発達障がい児支援活動）



## 読者からのお便り

お世話になっております。  
 御殿場のYMCA東山荘から東日本区連絡主事の光永でございます。  
 プリテンの配信感謝申し上げます。3月号プリテンの巻頭メッセージ“7年目に思うこと”を拝読させていただきました。  
 私は、2011年に林さんはじめ複数の皆さんが信越妙高に東西からの物資を集積されて、仙台YMCAまでバスで搬送された際に日本YMCA同盟の東日本大震災支援対策室として、仙台YMCAにおりました。  
 受け入れをさせていただき側の一人として従事していたことを昨日のことに思い出されます。荷物を皆さんと一緒に運んだ際に、一筋の希望を感じたことを思い出すと、今も熱くなります。  
 当時は、林さんはじめ、横浜つづきの皆様にも大変お世話になったことをはっきりと思い出しました。東日本区の皆様も同様でした。  
 翌年には、私は、仙台YMCAに日本YMCA同盟から1年間の期間で派遣されましたが、みやま荘の責任者の方は仙台YMCAの理事をされておりました。また、全国から多くの方たちが、みやま荘、そして山元町を訪れて励ましとご奉仕を賜ったことも心より感謝でした。  
 仙台YMCA東日本支援対策室の室長は、現在の村井総主事でした。

今年は、3/10に盛岡ワイズの例会に参加し、3/11に宮古ボランティアセンターの閉所に際して、宮古教会の礼拝に参加させていただきました。  
 当時、派遣していただいた横浜の大塚英彦さんもおいでになりました。  
 7年前にお世話になった方たちと、現地の皆さんと再会し、私にとっては、YMCAを通して経験してきた中のいくつかの里帰りとなりました。  
 時は過ぎていきますが、忘れてはいけないことや、忘れられないことを思い出しつつ、これからもできることを誠実にやらせていただければと  
 祈りながら想っております。  
 プリテンを拝読して、長々と失礼いたしました。  
 いつもありがとうございます。

在 主  
 光永 尚生  
 公益財団法人 日本YMCA同盟  
 国際青少年センターYMCA東山荘  
 日本Y M C A 研究所 所長  
 ワイズメンズクラブ国際協会  
 東日本区連絡主事

### 《クラブ/区・部/YMCA 行事予定》

- 5/16 都筑区社協交流会
- 5/16 都筑区社協災ボウ総会
- 5/16 みんなの家 Poppy
- 5/25・26 クラブ本例会（富士山例会）
- 5/26 横浜YMCA会員総会 @湘南とつかY
- 5/29 ベイスターズvs.イーグルス @横浜球場
- 6/2・3 第21回東日本区大会 @沼津
- 6/5 第81回Y-Y's協議会 @中央Y
- 6/12 みんなの家 Cocoの集い
- 6/12 クラブ事務例会 @田園都筑教会
- 6/16 第4回湘南・沖縄部評議会 @中央Y
- 6/22 クラブ本例会 @かけはし都筑

▽一年で最も気持ちのよい時期を迎えている。梅雨までの約1か月、クラブ恒例の富士山例会もあり、好天が続くことを切に祈りたい▽なんやかんや言いながら、今期もあと一ヶ月半を残すのみ。大量のメンバー減で始まった年度ではあったが、そこそこ、成果の多い1年間ではあったとおもう。あと一息！宏子会長殿▽本文にも紹介した通り、4月の例会では久保さんの卓話が好評であった。ビジター参加の横浜クラブ古賀ワイズもよっぽど楽しかったか、同クラブプリテンに一文を寄せている。是非以下をご覧ください。 <https://ys-east.jindo.com/bulletin/>  
 yokohama/▽富士山例会来週に控え、ご家族・友人・知人の勧誘に最後の努力をお願いします。  
 (編集子)

・・・編集後記・・・

### 《4月のデータ》

| 例会出席 | 18名 | 在籍会員数  | 17名 | 各種記録  | 前月    | 累計 |         |
|------|-----|--------|-----|-------|-------|----|---------|
| メンバー | 14名 | 月間出席数  | 14名 | 使用済切手 | 0g    |    | 0g      |
| ビジター | 1名  | メーキャップ | 2名  | プルタブ  | 0.6kg |    | 0.6kg   |
| ゲスト  | 3名  | 月間出席率  | 94% | スマイル  | 0円    |    | 73,512円 |

富士YMCA/GEV

